

しあわせ

vol.511

2014年12月

H a p p i n e s s

労福協

「千葉県労福協結成50周年祝賀会」を開催
第31回 チャリティゴルフ大会開催

連合

第22回 地方委員会開催

第25回 協同組合
フェスティバル

「海と大地とくらしの祭典」開催

小湊鉄道 上総久保駅(市原市)

●ひとりで悩んでいませんか?

くらし何でも無料相談

ちばライフサポートセンター

☎ 0120-53-4141

「第31回 チャリティゴルフ大会」



開催される!!

第31回千葉県勤労者チャリティゴルフ大会を、晴天のもと2014年10月27日(月) 真名カントリークラブで開催しました。

34組129名の働く仲間の皆さんが集い、ナイスショットに珍プレーとなごやかに大会を盛り上げて頂きました。

プレー終了後の待ち時間を活用しての「パターゲーム」では、廣崎泰雄(市原市役所B)さんが一打目で見事カップインを果たしました。今回は設定が難しく例年、数名の方がカップインしていますが、今回はお一人でしたが多くの皆さんに参加頂き交流がさらに深まりました。表彰式も多くの皆さんが参加され



団体の部優勝 小川チーム

盛り上がりの中で成績発表がされました。個人の部は小川清さん、団体の部は小川チームが見事優勝に輝きました。今回も多くの賞品を提供頂きました労働団体、福祉団体、関係企業等に厚く御礼申し上げます。また、参加者全員と入賞者のそれぞれの皆さんからのチャリティ募金は、19万4千円となりました。社会的な福祉運動を展開している団体等へ寄付いたします。紙面を借りが協力を頂きました皆さまに感謝申し上げます。



個人の部優勝 小川清さん

👑 個人賞

優勝	小川 清 (小川チーム)	グロス74, HC 3.6, NET70.4
準優勝	鈴木 光 (労福協Aチーム)	グロス84, HC13.2, NET70.8
3位	木戸場政八 (JAM東京千葉A)	グロス88, HC16.8, NET71.2
ベストスコア	小川 清 (小川チーム)	スコア74

👑 団体賞

優勝	小川チーム	NET218.8
準優勝	JAM東京千葉A	NET219.0
3位	労福協Aチーム	NET223.0

その他、パターゲーム賞、ニアピン、ドラコン賞 他



ご協力ありがとうございます!

千葉県予算に対する 政策・制度の要請



商工労働部雇用労働課へ要請書の提出

千葉県労福協は、政策活動として「千葉県予算に対する政策・制度の要請」を行っています。今年度は、8月の第4回理事会で要請書作成の考え方等の取組方針を決定して以降、中央労福協の政策を踏まえるとともに、構成組織や連携団体からの政策要望等を受け止め議論を重ね10月の第5回理事会で取りまとめを行いました。千葉県に対しては、11月5日（水）千葉県庁において会長、副会長、常務理事の4名で商工労働部雇

用労働課へ要請書の提出と要請内容の説明を行いました。内容は、①千葉県労働者福祉協議会についての要望（財政等の支援）、②連帯経済を促進する協同組合・協同組織の育成支援、③東日本大震災の被災者支援と復興・再生および災害対策、④労働者の生活安定に関する要請、⑤くらしの安全・安心について、⑥格差・

貧困社会の是正、ナショナルミニマムの保障、セーフティネットの強化、



⑦消費者政策の充実強化、⑧多重債務対策、⑨フードバンク活動の促進を柱に57項目の要請を行いました。要請にあたり、黒河会長が

ら「千葉県労福協は7月で結成50周年を迎えた。歴史の時々には労働者の生活向上の取り組みに対し県に要請するとともに支援を頂いてきた。現在は格差と貧困が大きな課題であり、労働者福祉の観点から生活底上げに

対する行政の力が必要であり政策内容に盛り込んでいる。一層のご理解とご支援をお願いしたい。」等の挨拶があり、常務理事から要請書の趣旨説明、雇用労働課長からのコメントと意見交換等を行いました。

2014年度 税務研修会



会場風景

2014年11月7日（金）全労済千葉県本部6階会議室において「2014年度 労働組合に関わる税務研修会」を開催しました。研修会には、労働組合等21団体・29名の皆さんに参加を頂きました。開会にあたって、黒河会長より千葉県労福協の一般社団法人移行等の経過や結成50周年を迎えての思いを含め意義ある税務研修会となることの期待を込めた挨拶がされました。研修では、関口講師から消費税をはじめとする税制全般にわたる動向や問題意識等のお話があり、その後、「労働組合の会計と監査」、「労働組合に関わる税務」として①税務の概要、②源泉所得税、③法人税・地方税、④消費税等について分かりやすく講義して頂きました。また、研修会終了後には個別質問の時間を設け、多くの方に対しご指導を頂き、熱の入った有意義な研修会となりました。

歴史に感謝し

「千葉県労福協結成50周年祝賀会」を開催!



中央労福協
山本副会長



根本野田市
市長



熊谷千葉市長



戸部千葉県
商工労働部次長

千葉県労福協は1964年（昭和39年）7月の設立総会から歴史を重ね結成50周年を迎えました。労働戦線統一、千葉県労働者福祉センターとの統合による社団法人化、会館事業の終息、一般社団法人への移行等々、時代や社会の流れの中で「福



乾杯 日高副会長



永年勤続表彰



閉会挨拶
細根副会長



千葉県労福協の歴史紹介

社はひとつ」の設立原点のもとに労働者福祉運動を展開してきました。歴史に感謝し今後の飛躍を期し8月30日（土）オークラ千葉ホテルにおいて県内外からのご来賓をはじめ歴代役員、構成団体等、多くの皆さまの出席のもとに「結成50周年祝賀会」が盛大

に開催されました。祝賀会は、小柳常務理事の進行ではじまり、主催者を代表して黒河会長からは、50年間を前半・後半に分け、前半は労働団体間の接着剤役や会館建設、事業団体の基盤強化、後半における格差・貧困の克服、震災復興への取り組み等の歴史や経過にふ

れ、その上で、「労働組合のローカルセンター」連合千葉、勤労者の金融機関、労金、勤労者の助け合い、全労済、職域・地域の協同組合、生協連、それぞれ持つ特性を生かした物的・人的なネットワークという大きな力を結びつける要として、また志を共有する皆さんと力を合わせ、全ての勤労市民の幸福実現に貢献する設立目標を忘れることなく次の50年に向けて新たな一歩を踏み出して行きたい。」との感謝と決意が述べられました。続いて、ご来賓の千葉県商工労働部次長、千葉市長、野田市長、中央労福協山本副会長から祝辞が述べられ、東部ブロック遠藤会長を始めとしますご来賓を紹介し、永年勤続表彰、その後、日高副会長による乾杯により歓談に入り、DVDによる千葉県労福協の歴史紹介、歴代会長紹介挨拶等々が行なわれ、細根副会長の閉会挨拶と手締めで会を閉じました。限られた時間ではありましたが新旧・内外を含めた交流と親睦が深まり決意を新たにすると祝賀会となりました。改めて、これまで永きに亘り千葉県労福協の運動にご尽力ご支援頂きました皆様へ感謝申し上げます。

50年の あゆみ



設立総会：1964.7



スキーのつどい：1967～



しあわせ創刊：1964



勤労者野球大会：1978～



勤労者美術展：1978～



年金学習会：1992～



統合記念祝賀会：2003.5



勤労者囲碁将棋大会：1979～



（一社）第1回定時総会：2014.5



歴代会長と黒河会長

歴代会長

赤桐 操	1964年7月～1981年7月
山村 実	1981年7月～1985年8月
清水 光明	1985年8月～1992年6月
成毛 藤吉	1992年6月～1996年6月
齊藤 達夫	1996年6月～1999年6月

栗田 忠宏	1999年6月～2003年5月
岡田 勝	2003年5月～2009年5月
小泉 津都武	2009年5月～2011年5月
黒河 悟	2011年5月～

県労福協 労働者自主福祉運動・協同組合運動推進の取り組み

千葉県労福協は2012年国際協同組合年を契機に労働者自主福祉運動・協同組合運動の更なる推進に向け、あらためて労福協運動の大きな柱と位置づけ次の取り組みを展開しています。

- ① 社会的認知度の向上、利用促進・相互利用促進の検討
- ② 労働団体や労働組合に対する運動方針等への労働者自主福祉運動推進の方針化要請
- ③ 労働者自主福祉運動シンポジウム
- ④ 協同事業団体・中央労福協の研修・紹介機材（DVD・資料等）の労働組合への紹介・貸出



貸出DVD



地協代表者会議での要請

労働者自主福祉運動の推進、「労金運動の推進」、「全労済運動の推進」等に関する運動方針の掲載をお願い申し上げます。

既に掲載を頂いている場合は、労働者自主福祉運動、全労済運動の推進へのご協力をお願い申し上げます。

2. 構成単組・支部等に対しまして「労働者自主福祉運動の推進」、「労金運動の推進」、「全労済運動の推進」に関する運動方針の掲載について周知ならびに働きかけを行って頂きますようお願い申し上げます。

3. 組合員・組合役員を対象とする学習会・研修会等の実施にあたっては、労働者自主福祉運動に関するプログラムを盛り込んで頂きますようお願い申し上げます。

「結成50周年記念労働者自主福祉運動シンポジウム」開催する!!

8月30日（土）13時30分から千葉

商工会議所第1ホールにおいて千葉県労福協「結成50周年記念 労働者自主福祉運動シンポジウム」が中央労金千葉県本部、全労済千葉県本部、連合千葉、中央労金労組千葉統括支部、全労済労組東日本総支部千葉支部、共催により開催されました。

中央労金労組、全労済労組の呼びかけにより2012年度から開始した本シンポジウムは今回で3回目の開催となりました。今回は千葉県労福協結成50周年を迎えそれぞれの運動・事業の



黒河会長挨拶



講師 高橋均氏
(中央労福協前事務局長)

成り立ちや歴史を振り返り、「ともに運動する主体」であることを確認するシンポジウムとして開催しました。

「労働者自主福祉運動」推進に向けた運動方針等への掲載を要請!!

「労働者自主福祉運動・協同組合運動推進の取り組み」にもとづき、9月〜10月にかけて、連合千葉、連合千葉構成産別、地域協議会、



連合千葉への要請



連合千葉執行委員会における構成産別要請

地区労福協に対し、運動方針等への掲載の要請行動を行いました。

○産別への要請内容○

1. 定期大会議案書へ自主福祉活動の一環として、「労働者自主福祉運動の推進」に関する運動方針の掲載をお願い申し上げます。

引き続き、労働者自主福祉運動、全労済運動の推進へのご協力をお願い申し上げます。

2. 構成単組・支部等に対しまして「労働者自主福祉運動の推進」、「労金運動の推進」、「全労済運動の推進」に関する運動方針の掲載について周知ならびに働きかけを行って頂きますようお願い申し上げます。

3. 組合員・組合役員を対象とする学習会・研修会等の実施にあたっては、労働者自主福祉運動に関するプログラムを盛り込んで頂きますようお願い申し上げます。

ウムは黒河会長から50年の歴史に触れ開催趣旨を含めた挨拶にはじまり、「事業団体の歴史」として労働金庫、全労済の歴史をそれぞれが作成したDVDを放映し、映像により学習を行い、その上で「歴史から学ぶ労働運動・労働者自主福祉運動の理念・課題」～連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会に向けて～」をテーマに高橋均氏（中央労福協前事務局長）よりご講演頂きより深い理解をはかることができました。

その後、小柳常務理事による「千葉県労福協の活動紹介」が行われ、構成団体、地区労福協との連帯・協同をはじめ、勤労者の福祉向上、労働者自主福祉運動・協同組合運動の推進、子育て支援、くらし何でも相談（ちばライフサポートセンター）、フードバンクや消費者問題、格差貧困問題等、市民との協同や幅広いネットワークでの取り組みが紹介され、千葉県労福協運動の理解や認知度向上に少しでも結びつけることができました。最後に、日高副会長より一層の連帯強化と運動推進への協力



千葉県労福協の活動紹介

をお願いし労働者自主福祉運動シンポジウムは閉会しました。

このシンポジウムは毎年開催していく予定です。毎回新しい参加者が増やし、より多くの方と認識を共有していきたいと考えています。引き続きのご協力をお願い致します。

2014 「生活底上げ・福祉強化キャンペーン」を展開!!

千葉県労福協は、中央労福協の方針を踏まえ、全国一斉の「生活底上げ・福祉強化キャンペーン」の取り組みを10～11月の2ヶ月間、関係団体と連携して展開してきました。

その内容は、全国共通として、政策・制度要求と社会運動（①生活困窮者自立支援制度の構築、②格差・貧困社会の是正、生活底上げ、③奨学金問題への対応）、協同事業団体の利用促進と共助拡大（①「ともに運動する主体」の関係再構築と利用促進や共助拡大、②ライフサポートセンター活動への取り組み）。また、千葉県独自課題として①野田市生活困窮者自立促進支援モ

デル事業の課題整理と検討、②「フードバンクちば」活動の周知及び支援の仕組みづくりの検討・実施、③労働者自主福祉運動の推進、11月5日（水）には、千葉県に対して「生活困窮者自立支援制度の構築に向けて（要請）」の要請書を提出しました。内容は「生活困窮者自立支援制度の構築

に取組んできました。11月5日（水）には、千葉県に対して「生活困窮者自立支援制度の構築に向けて（要請）」の要請書を提出しました。内容は「生活困窮者自立支援制度の構築

に取組んで、速やかに以下の対策を講じられますとともに、全県下において同様の取り組みが進展するよう、市町村への情報提供、調整・支援を行い、指導性を発揮されますことを要請いたします。」として、8項目の要請を行いました。千葉県労福協は今後も格差・貧困等の社会運動に取り組んでいきます。

①野田市生活困窮者自立促進支援モ

全国で展開中!

UP! 2014

生活底上げ・福祉強化

千葉県労福協

2014 生活底上げ福祉強化キャンペーン

貧困や排除のない社会を実現しよう!

- ▶ ナショナルミニマムを守り、利用しやすい生活保護制度に!
- ▶ 地域で生活困窮者支援制度をより良いものに!
- ▶ 若者にハンディを背負わせない奨学金制度に!

みんなで労働者福祉事業を利用し、共助の輪を地域に広げよう!

UP! 2014 生活底上げ・福祉強化

協同事業の利用を広げよう!

つながろう

労働組合と協同組合 ろうきん・全労済は、仲間同士のたすけあい・連帯などの価値観を共有しています。

労働運動みずからが生んだ自主福祉事業。参加し、利用し、ともに運動をつくらう!

2014 生活底上げ・福祉強化キャンペーン

UP! 2014 生活底上げ・福祉強化

ひとりで悩まないで! ライフサポートセンターへ相談を!

日常生活で起こるトラブルや悩みごと、困ったこと。誰かに聞いて欲しい。どこに相談したらいいんだろう... ライフサポートセンターは、連合、労福協、ろうきん、全労済などによる協同事業で、専門家等の協力も得ながら、生活や労働に関する様々な問題の解決策を一緒に考えます。ぜひ、お気軽にご相談ください。

※相談内容、相談方法など、詳しくはお近くのライフサポートセンターまでお尋ねください。
※ライフサポートセンターの名称は地域によって異なります。

2014 生活底上げ・福祉強化キャンペーン

各地区労福協 活動のご紹介

野田地区労福協 工場見学



工場見学 (パスコ利根工場)

野田地区労福協は野田市内の21単組が加盟しており、「地域の勤労者とその家族が交流を深められ大人から子供まで楽しめる」行事を企画運営しています。

今年も、通年開催し好評を得ている労働者交流バスツアーや交流将棋大会に交流ボウリング大会を開催してきました。また、市内における工場見学としてパスコ利根工場を見学し普段口にしていないパンの製造工程を学び体験すると共に交流バーベキューにて懇親を深める取組みも行ってきました。今後も労金・全労済等の福祉団体と連携

を密にし、地域における労働者福祉活動の推進を図ると共に、地区に在住する企業や勤労者が家族も含めて交流が図れる企画を立案し、人と人との繋がりを尊重した活動に努めていきます。

長生茂原地区労福協 総会・ボウリング大会を開催

長生茂原地区労働者福祉協議会第13回総会が7月29日(火)に開催されました。

総会の中で、長生茂原地区労福協の設立についての経緯が話され、設立理念である①政治的中立②地域勤労者の融和と連帯③地域社会発展への貢献④福祉団体の育成強化の4点について確認がなされました。



ボウリング大会

また、①組織の充実と強化拡大②労働者福祉事業の拡大発展③文化・スポーツ活動の強化④政策制度や今日的課題についての学習・教宣活動の充実を活動方針として、取り組んでいくことも確認されました。

今年度、スポーツ活動の第一弾として、10月19日(日)にボウリング大会(地区予選)を行い、9労組29人の参加者のもと、白熱した戦いを繰り広げました。優勝した労組には県大会でも奮闘を期待しています。

今後も、加盟団体への働きかけを積極的にを行い、より充実した活動を構築していきたいと思えます。

銚子地区労福協 2014年度総会と 講習会を開く

2014年度の総会と併せてAED(自動体外除細動器)に関する講習会を、7月23日(水)夕方6時よりヤマサ醤油労働者会議室をお借りして開催しました。参加者は、来賓を含め29名。

総会では新年度における活動方針と予算、役員を決めております。活動方針の中では財政事情や人的な面もあるが自主的な活動の推進が課題として取り上げられております。

総会終了後に講習会へと移り、銚子市消防本部より講師を招いてAEDの取り扱いの基本についてを約30分で指導いただきました。



AED講習会

市川・浦安地区労福協 ボウリング大会報告

10月24日(金)地区労福協ボウリング大会を開催し、各構成組織より全体で13チーム、計52人が参加しました。

団体成績は、1位・ガルパテックス労働組合、2位・市川市職員組合、3位・労働金庫市川支店という結果となりました。



ボウリング大会

り、ゲーム後の表彰式のなかで上位2チームに「千葉県勤労者ボウリング大会」へ出場していただくことが決まりました。

当日は金曜日ということもあり、みんな楽しんで週末のひと時を過ごすことができました。

千葉市地区労福協 ボウリング大会報告



ボウリング大会

千葉市地区労福協は、10月29日に千葉リバーレーンにおいて、60名(15チーム)参加によるボウリング大会を開催し、会員同士の親睦を深めました。この大会の上位3チームは、11月29日に開催される県労福協主催の勤労者ボウリング大会に出場する予定であり、千葉市地区代表として上位入賞を果たしてもらいたいと思えます。今後も、より多くの仲間に参加を呼びかけ、活動の充実と活性化に取り組んでいきます。

活動紹介

NPO法人子育て支援グループ 「ハミンググちば」

子育て支援グループ「ハミンググちば」は、2000年6月の千葉県労福協「子育て支援の取り組み方針」を受け、2002年7月にパパとママの子育て支援グループ「ハミンググ」を設立し、2003年6月NPO法人を取得して以降、お助け会員である市民の皆さまとの協力で13年目の活動を進めています。お願ひ会員とお助け会員の支え合いによる子育て支援や団体託児、セミナーや交流会等を実施しています。その活動の一部を紹介します。

「第2回全体定例会議・バー ジョンアップ研修」開催!!

9月28日(日) 千葉市中央コミュニケーションセンターにおいて第2回全体定例会議とバージョンアップ研修を



開催しました。全体定例会議は、理事會報告を含め事業計画を共有するとともに、各種規則や指針等への意見反映、支援現況の共有と事例研究等を行っています。今回は団体託児の指針や、会員交流会、支援の現況

を中心に開催しました。「バージョンアップ研修」では、団体託児のスキルアップを目的に、第1講座は「子どもたちが安心・安全に過ごすために」の講演、第2講座「わらべうた・ふれあいあそびうた」の実技について、お助け会員が講師となり実施しました。定例会議・研修とも真剣でかつ暖かな雰囲気の中で進められ意義あるものとなりました。

「芋ほり&バーベキューの集い」 晴天のもとに開催される!!

10月19日(日) 袖ヶ浦市の井上さんの畑、健康づくり支援センターがランドにおいて会員交流行事の「芋ほり&バーベキューの集い」が晴天のもとに開催されました。こ



の会員交流行事は、2004年の開始時から労働組合役員OB「千遊会」の皆さんと合同で実施してきました。今回は、

ハミンググ会員と子ども達、千遊会の皆さん32名が参加し、芋ほりにバーベキューにと、和気あいあいの中で楽しい時間を過ごし交流・親睦の深まる一日となりました。毎年、ハミンググの交流行事のために芋を作っていたらいてる井上さんご夫婦に心よりの感謝を申し上げます。





地方委員会を開催する！

連合千葉は、10月24日（金）オークラ千葉ホテルにおいて、執行部、地方委員、特別地方委員116名の参加のもと「連合千葉第22回地方委員会」を開催しました。

今回は、議長に土田委員（県私鉄）を選出しスタートしました。

経過報告と「地協改革中間まとめ」の特別報告に続き、「2015年度活動方針」「2015年度予算」など、5つの議案について議論が行われ、多くの地方委員、特別地方委員から活動方針を補強する意見を頂戴しました。また、5号議案では、来年4月に施行予定の第18回統一地方選挙に向けて、「第18回統一地方選挙必勝決議」が採択され、連合千葉に集う構成組織が一丸となって支援することを確認しました。採択後のセレモニーでは、連合千葉推薦の立候補予定者の紹介をし、連合千葉議員団会議を代表して、佐々木会長より全員当選に向けての決意表明が述べられました。



議長 土田地方委員

全ての議事終了後、鈴木会長の今後1年間の決意を再確認する「団結カンパニー」で閉会いたしました。

連合千葉 古賀会長とニューリーダーとの直接対話（KNT47）in千葉

2014年10月5日（日）、千葉県教育会館において、25名の参加により、連合本部古賀会長と構成組織の次代を担うニューリーダーとの直接対話（KNT47）を開催しました。



挨拶をする古賀会長



会場の様子

対話は、①「若年層の活動の活性化について」、②「連合に期待すること、連合ブランドをいかに確立するか」、③の2点の本部テーマと③「政治活動への参画意識について」という連合千葉独自のテーマについて、ディスカッションしました。参加者の意見や質問に対し、古賀会長からは、連合の方向性や自身の経験や思いを述べて頂きました。参加者からは、「連合が身近に感じることができ、大変参考になりました。今後の組合運動に活かしていきたい」との感想もありました。次へのステップとしては、貴重な一歩であり、可能であれば継続的な取り組みが必要であると考えます。



第22回

鈴木会長挨拶 要旨



の連携の強化、の3つの柱を基本に運動方針を確立してまいりました。

本年度は、組織拡大はもとより、2015春闘に向けて、非正規の皆さんの処遇改善や

に全国で展開しており、これからが本当の正念場であります。連合千葉は、11月18日から20日の3日間行動を展開し、12月5日の全国統一集会を目的に改悪阻止の決着と価値ある成果を期待するものであります。最後に、第18回統一地方選挙についてであります。

連合千葉第22回地方委員会にご参集いただいた地方委員の皆さん大変ご苦勞様です。委員会開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。今年には異常とも云える自然災害が多発した年となりました。

私たちは決して東日本震災を含めた災害を風化させず、継続した支援の活動を連合本部や連合関東ブロックと連携して進めていくことを改めて誓い合いたいと思っております。

さて、連合千葉は、昨年10月に開催した第14回定期大会で、①1000万連合方針を踏まえた、連合千葉「20万組織」に向けた「仲間づくり」、②第3次男女平等推進計画の始動、③労働者自主福祉運動と

男女間格差の是正など、「働く人への投資」を基本に日々懸命に頑張っている職場組合員の頑張りと期待に応えるため、連合方針を踏まえ今年以上の取り組みを展開して頂きたいと考えます。

次に、喫緊の重要課題である「労働者保護ルール改悪阻止」の取り組みは、働く者の雇用と暮らしを守り、雇用環境の地域間格差の拡大を阻止する運動です。

連合は今年5月に「STOP THE HE 格差社会！暮らしの底上げ実現」第2弾のキャンペーンを展開し、労働者派遣法改正案を廃案にすることができました。

第3弾のキャンペーンは11月末第187回臨時国会会期末を視野

我々が求める民意が適正に反映され、健全な議会制民主主義が機能する政治の確立は重要な課題であり、中間地方選挙・統一地方選挙を含めて、国政選挙にすべて繋がるわけであり、現状の政治情勢を改革するための重要な選挙であります。

明春の統一地方選に向けて、候補者の周知・徹底、投票の呼びかけなど政治活動の強化と組織の連携強化を要請するものであります。

直面する労働者保護ルール改悪阻止第3弾キャンペーン行動、明春の第18回統一地方選挙、2015春季生活闘争や組織拡大をはじめとした様々な課題について、連合千葉は皆さんと力を合わせ、全力を挙げて頑張り抜く決意を申し上げます。連合千葉を代表しての挨拶とします。

生協連

全労済

ろうきん

労福協

～11月9日（日曜日）千葉ポートパークで～



11月9日、千葉ポートパークにおいて、「第25回千葉県協同組合フェスティバル ～海と大地とくらしの祭典～」が開催されました。

このフェスティバルは、千葉県内の協同組合および協同組織の交流を図り、県民に「協同」をアピールすることを目的に、1988年から開催されています。フェスティバルには、JA・漁連・森林組合・生協の4協同組合、全労済千葉県本部、中央労金千葉県本部、千葉県労福協、

NHK千葉放送局、千葉県農林水産部、千葉県ユニセフ協会が出展参加しました。当日は、心配された雨も上がり、時折陽がさすさわやかな天気に恵まれて広い会場が多くの参加者で賑わいました。

農協・漁協・森林組合のコーナーでは、それぞれの生産物の販売や太

では、それぞれの生産物の販売や太



各団体代表による開会式テープカット



全労済・ろうきん・労福協ブース



「海と大地と



輪投げ

巻きずしの実演とチャリティー、サンマの丸干し焼き、焼きシイタケの試食など多彩な企画が行われ、千葉の農林水産物をアピールしました。NHK、ユニセフ協会のコーナーも盛況でした。生協と労協関係では、パルスステム千葉、コープみらい、生活クラブ生協、なのはな生協、全労済千葉県本部、中央労金千葉県本部、千葉県労福協が実行委員会を組織して準備をすすめる様々な企画を行いました。販売や試食、子供向けの輪投げ、お菓子すくいなど、どのコーナーも大好評でした。



烈車戦隊トッキュウジャー



バルーンアート

ステージでは、「烈車戦隊トッキュウジャー」ショーが子どもたちの人気を集め、生協組合員のグループによる太鼓演打、モダンダンス、ろっくソウラン、また、お肉応援隊「香蓮」コンサートがフェスティバルの雰囲気盛り上げました。

第21回 千葉県協同組合女性交流会

11月7日には、白子町で第21回千葉県協同組合女性交流会が開催され、J A、生協、漁連から43名が参加しました。この交流会は、協同組合フェスティバル同様、生産者と消費者、特に女性が相互に



講師による調理指導

交流することを目的として毎年開催されています。

今年度は、「麴」をテーマに、「塩麴と醤油麴の作り方」、「旬の野菜と麴を使った料理の提案」の調理実習を、講師の指導のもとに行いました。塩麴と醤油麴を使った料理を試食しながら、出来具合や感想を話したり、日頃の活動の情報交換をするなど親睦を深めました。

千葉県と「ちばSSKプロジェクト」等に関する協定」を締結

千葉県生活協同組合連合会は、10月28日、千葉県と「ちばSSKプロジェクト」等に関する協定」を締結しました。千葉県庁で行われた締結式には、千葉県から諸橋副知事はじめ関係者、生協から県連田井会長理事およびコープみらい、パルシステム千葉、生活クラブ生協、なのはな生協の代表者が出席しました。



協定書を手にした諸橋副知事（左）と田井会長理事

「ちばSSKプロジェクト」は、県民一人ひとりが、高齢者の孤独化防止のための具体的な行動を起こすきっかけづくりとなるよう実施されているプロジェクトです。「SSK」は、「しない」のS、「かせない」のS、「孤立化」のKと、それぞれのアルファベットを記号化したものです。

千葉県生協連および地域の4生協は、商品の配達などの日常業務を通じて、高齢者の見守りや「ちばSSKプロジェクト」の周知、認知症対策などに協力します。

生活応援運動の取組みについて



中央労働金庫では昨年度同様、会員・組合員への生活応援・生活防衛に繋がる取組みとして「住宅・カードローン見直し提案」に注力した取組みを進めてまいりました。昨年度に引続き可処分所得向上につながる「生活応援アンケート」を中心に取組み、組合員の皆さまへ「あんしん」という付加価値の提供に努めた結果、千葉地区の住宅ローンに占める借換の割合は、8地区でトップである44・13%となり、本取組の主眼である「お客様の住宅ローン借換えメリット（経済的利益）」の累計は6億円となりました。

またカードローン「マイプラン」については他行・他社カードローン借換を中心として会員・推進機構連携を強化しつつ取組みを進めてきた結果、新規件数及び販売額ともにおおよそ計画通りに進捗しております。

毎月第3土曜日の一斉相談会のほか、職場での相談会も実施しておりますので、この機会に是非ご利用下さい。



お問い合わせは 下記営業店・ローンセンター まで

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| ●千葉支店 043-251-5161 | ●野田支店 04-7125-2525 |
| ●市川支店 047-376-3311 | ●銚子支店 0479-22-8484 |
| ●館山支店 0470-22-1111 | ●茂原支店 0475-23-6611 |
| ●船橋支店 047-434-2784 | ●松戸支店 047-365-8185 |
| ●市原支店 0436-21-2181 | ●木更津支店 0438-25-5511 |
| ●成田支店 0476-24-2211 | ●八千代支店 047-486-2525 |
| ●柏支店 04-7163-4567 | ●成東支店 0475-82-4111 |
| ●津田沼支店 047-403-6070 | |
| ●津田沼ローンセンター 047-403-3881 | ●千葉県庁前出張所 043-221-5311 |

お金の「？」を相談しましょう!



開催時間 10:00~17:00

※一部未開催の店舗がございます。
※店舗によって相談会の開催時間が異なる場合がございます。



全労済の
「生活保障設計運動」を、
あなたとご家族の
最適な保障づくりに
お役立てください。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

中央ろうきん

教育ローン キャンペーン

キャンペーン期間

2014年10月1日(水)～ 2015年3月31日(火)
ろうきんは
お子様の夢を
応援します!



【キャンペーンについてのご注意】※クオカード・図書カードは、1回の申込・利用につき1枚とさせていただきます。※図書カードについては、キャンペーン期間中の融資実行分が対象となります。※クオカードは当金庫が仮審査申込みもしくは本申込を受付した後にお渡しいたします。※中央労働金庫のホームページから仮審査をされた場合、クオカードはご登録いただいた自宅住所に郵送いたします。(お申込後、概ね2週間程度かかりますので予めご了承ください。)※図書カードはご融資実行後にお渡しいたします。※クオカード・図書カードのデザインは変更となる場合があります。※教育ローンの商品内容・キャンペーンの詳細等につきましては、お取引営業店までお問い合わせください。

お問合せ先
〈中央ろうきん〉千葉県本部 TEL:043-251-5162

キャンペーン特典1

キャンペーン期間中に
〈中央ろうきん〉教育ローンの
仮審査申込みもしくは
本申込された方に

もれなく
クオカード
500円分
プレゼント!



※仮審査申込から本申込をされた場合でもクオカードは500円分となります。

キャンペーン特典2

今だけうれしい
W特典!

キャンペーン期間中
に〈中央ろうきん〉教育ローン
(30万円以上)を
新規でご利用いただいた方に

もれなく
図書カード
500円分
プレゼント!



※一回の新規利用額30万円以上が条件となります。

2014年11月1日現在

あんしん農業バンク
ろうきん

労働者自主福祉運動・事業の資料(DVD)紹介

千葉県労働者福祉協議会では、労働者自主福祉運動・協同組合運動の推進に取り組んでいます。

労働者自らが創り育ててきた運動・事業の歴史や「ともに運動する主体」について学び、理解を深めるためにシンポジウム等を開催してきました。

今回、その一環として労働金庫、全労済が作成した資料(DVD)をご紹介します。



千葉県労福協としてもDVDの貸出等を行いますので、ぜひ、ご覧になるとともにご活用頂ければ幸いです。



お問い合わせは、千葉県労福協(043-241-6681)までお願いいたします。



各分野のプロがあなたのご相談にお答えします。

くらし何でも相談ダイヤル

相談無料

どうしよう?



くらし相談

子育て

法律相談

労働相談

多重債務

ちばライフサポートセンター

いつでも そうだん よい よい

0120-53-4141

悩むより
まずは
お電話を!



受付時間

平日 午前10:00~午後5:00

<http://www.chiba-lsc.jp>

実施団体：一般社団法人 千葉県労働者福祉協議会(略・労福協)